

市長と語る タウンミーティング  
テーマ「災害に強いまちづくり」

日 時 平成24年9月18日（火） 午後7時～8時45分  
会 場 中央一丁目集会所（福岡中央一丁目町内会）  
天 気 くもり

参加者 29人

主な意見等（◆・・・参加者 ☆・・・市長）

- ◆先ほど学校の耐震化の予算について説明があったが、もう工事は終わったのか。子どもたちの命をどう守っていくかはとても大切なことなので、学校の耐震化が終了することは大変ありがたいことであるが、保育所についてはどうなっているのか。
- ☆国が定めた耐震化促進計画によれば、2階建てで500㎡以上の建物については対象診断を平成29年までに行うこととなっている。この基準に従うと市立保育所の中では滝保育所が対象となっており、今年度の予算で耐震設計を行い、来年度予算で耐震補強工事を行う。この他の基準外となっている保育所についても、順次耐震診断から進めていきたい。
- ◆防災無線が全然聞こえない。外に出るとかろうじて聞こえるが、Jアラートの時もまったく聞こえなかった。防災無線の整備について先ほど説明があったが、その整備内容が知りたい。例えば設置場所が変わったりするのか。
- ☆基本的には現存の場所に新しい機械を設置していく考えである。過去にその場所に設置した時の状況から、マンション建設などで大幅に環境が変化した中で、無線の聞こえ方も変わってしまっていることは理解できる。しかし、無線自体は現在、家の中にも聞こえるようにはしていない。夜間働いて疲れて帰って来る人などもおり、最大音量で流していない（2段階程度落として）ため、窓を開けたり、外に出たりしないと内容まできちんと聞こえる状態にはなっていない。最大音量だとどれぐらいの状態になるのか確認する意味でも、9/12は最大音量のセットをしてふじみ野市は備えていたが、大元の問題なのか普段の防災無線より聞こえなかったという声が多々あった。防災無線については聞こえにくいという状況とハウリングを起こしてしまうという異なった状況があるが、これらの解決のために、西地区、東地区の統合化やデジタル化を行う。難聴地域については、今後も特に何らかの対策をとっていきたい。12/2の合同防災訓練の前にでも、再度、最大音量で流させてもらってもいいかもしれない。この他、放送内容のメール配信もしているので、活用していただければと思う。
- ◆防災倉庫は備えたが、中身はこれから。市から備蓄品について指示はもらえるのか。できれば購入先のアドバイスなどもして欲しい。
- ☆町会・自治会連合会で一括してとりまとめ、購入する方法なども有効ではない

かと思う。備蓄品や資機材の整備費については、市としても支援していきたいと考えているし、市からもできるアドバイスはしていきたいと考えているが、皆さんの中で何が必要なのか話し合うことも非常に大切である。意見交換を行い、皆さんそれぞれの防災に対する意識を高めてもらうことが何よりも必要なことではないかと思う。地域の皆さんの防災意識の高揚のため、私もこのように各地域を廻らせていただいている。中央一丁目のこの地域については、非常に環境が良い。避難所とこの会館が近い。そんな中でも、いざという時、避難所である福岡中学校を一目散に目指すのではなく、様々な状況においてまずは一番身近な安全な場所に身を移すということを頭に入れておいて欲しい。震災はいつ起こるかによって被害の状況が様々である。夏なのか冬なのか、朝なのか昼なのか夜なのか深夜なのか。その時々に応じて安全な場所は違ってくると思う。冬の夕飯時であれば延焼の危険性が高まる。そんな時に避難所方面から火の手が上がっていけば、当然、避難所よりも身近で安全な場所に逃げるのが何よりも大切である。避難所はあくまでも自宅に戻れない時に、ある程度落ち着いてから向かう場所という認識をしておいて欲しい。それから、震災が起こる時間帯や季節により様々な状況が想定されることと併せて、自宅に居るときに必ずしも被災するとは限らない。どこで被害に遭うか分からないが、とにかく身近な安全な場所に逃げ、大切な命を守って欲しい。この地域は防災倉庫も近い、貯水槽も近い。とても良い環境であるが、皆さんでこの機会に防災倉庫の中身として何を備える必要があるか等について、話し合っていたきたい。市もそのためにあらゆる情報提供に努めていきたい。

- ◆水害について過去の浸水状況を伺いたい。ハザードマップなどを見ても、各地点の標高（海拔）について記載が無い。津波の想定や荒川決壊の過去の状況を知りたい。
- ☆近年において荒川決壊の記録は無いが、大雨の影響で滝地区において排水路が溢れ道路が冠水した例や、福岡新田の谷田橋の冠水があった。
- ◆昔は船が置いてあったのをよく見かけた。きっと大水が出たのだろう。文献などからの分析・整理はしてないのか。
- ☆洪水ハザードマップは荒川決壊時の被害想定もしているが、その中では中央一丁目の被害は想定されていない。荒川も200年に一度の大雨が降ったらという想定で決壊などの予測をしているが、もしもの場合でも、もっと上流で溢れてしまうだろうと思う。津波の影響についても、国で現在シミュレーションしている最中であり、冬頃正式な発表がある予定である。しかし、この辺の地域については直接的な影響は無いと思われる。海拔について、福岡高校辺りで6メートル、この辺については18メートルぐらいではないか。
- ◆町なかに海拔（標高）の表示があっても良いのではないか。
- ☆参考にさせていただきたい。検討させていただく。
- ◆他のタウンミーティング会場で聞いたが、福岡小学校辺りで海拔11メートルと聞いた。

◆町会・自治会の組織率が低く、どこの集まりでも常連顔しか見えない状況である。中には、子供会すら入っていない家庭もある。こういう人たちとどのように繋がっていったらいいのだろうか。本来は町会に皆が入ってもらい、町会機能を発揮して災害時を乗り切っていかなければならないと考えるが。

☆この地域の自治会加入率は52.3%であり平均的な状況だと思うが、市内で多いところは70%~80%。少ないところでは30%台のところもある。現代の人間関係の希薄さを表しているのではないか。ご近所とは疎遠になってしまっている状況だろうが、いざという時助け合わなければならないのがご近所同士である。ご近所の力の大切さをもっと理解して、地域力を高めていって欲しいと思う。転入者へのアプローチとして町会・自治会への加入促進を市役所窓口で行っている。以前はしていなかったが、現在は積極的に加入を促している。地域の安全・安心のためにこの3.11の経験を踏まえ、ピンチをチャンスに変えていって欲しい。皆で支え合おうと誘い合っていただきたい。メリットにこだわる若者にもいざという時の助け合いを前面に打ち出して、加入拡大に努めて欲しい。合同防災訓練のポスターのテーマにも『絆』を掲げ、自治会・町会への加入を呼びかけている。市からも、防災を切り口として自治会加入を促している。

◆マンション建設が進んでいる中、以前、施行業者から建設中に連絡が入り自治会のことについて聞かれたことがある。しかし、建設が終了しても何の連絡も無かったので、同じ施行業者に連絡したところ、マンションの管理は組合に引き継いだとの回答だった。仕方なく管理組合に出向き自治会加入について話をしたが、施行業者から何の話も聞いていないとのことで、今からだと入居者の理事会に諮る必要もあり、総会などで2/3の賛同を得なければ自治会加入は成立しないとの話があった。こんな状況下において、マンションの住民に会長が勧誘して廻ることは不可能である。

☆自治会の役割分担の中でうまく勧誘するのも一つの方策ではないか。会員拡大促進チームのような役割分担機能を持たせてはいかがか。マンションにお住まいの方々も3.11の時の経験を踏まえ、自治会に加入しようとする動きが見られる。西地区は停電によりマンションに水の供給ができなくなった。トイレも満足に使えない状況があった。今後は、普段からの仲間意識が大切だと思うので、マンションの方々も含め地域の絆を深めていって欲しい。マンション施工に関する開発許可の際に、自治会加入に関するお願い事項は入れているが、規制力は無くあくまでもお願いに留まる場所である。行政として開発条件に加え規制することは、制度的に難しい。お願いの域を脱することはできない。

◆近く10/21にマンションの理事会が予定されているが、市からも同席いただけるか。

☆それは可能なのでお声かけいただきたい。

◆福岡中央公園を軽スポーツなどに有効利用したいが、いちいち市役所まで行き申請を行い暫くたってから許可が出る。非常に煩わしいが何とかならないか。

☆面倒であることは理解できるが、公園はみんなのものであり、軽スポーツに使用したい人もいればそうでない人もいる。全市民の財産である公園を管理する上では、申請許可制をとらざるを得ない。

◆以前、公園内にゲートボール場が2面あったが、いつのまにか無くなってしまった。中央一丁目に公園の一角を、条件付きで借りることはできないか。

◆メールで使用申請はできないのか。

☆電子申請の時代なのでそういった内容も取り組む必要がある。

◆地域別に火事の延焼シミュレーションはしているのか。

☆地震の揺れの周期により様々な被害想定があり、ましてや地域別というものをお示しできる段階ではないが、現在、市内の配水栓が有事の際、どの程度使えるものなのか、初期消火のためにどの程度活用できるのか調べているところがある。自主防災組織の取り組み例として、消火栓を設置した例もある。

◆耐震診断は市でやってもらえるのか。

☆市の窓口にか家の図面をご持参いただければ、簡易診断をさせていただきます。

◆正式にやるにはどうしたらいいのか。

☆一級建築士による診断が正式なものとなるが、市では費用補助を行っている。費用総額の2/3（限度額5万円）を補助した残りの7～8万円程度で診断ができると思う。